

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	585 アダプト・ア・ロード事業					
予算科目	01-080101-12 道路管理事務に要する経費			担当部課	建設部道路管理課	
市長公約				係名	管理係	
戦略プラン	II-4	2	3	アダプト制度の推進	新規・継続	継続
	IV-4	3	1	きれいなまちづくり推進事業の実施	事業分類	自治事務（任意）
個別計画					事業体制	職員のみ
					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

## 事業の概要

対象	市民、団体
目的	道路等に対する市民等の愛護意識を高め、快適で美しい道路環境づくりを推進する。
概要 (取組内容)	市と実施団体が協働し、市道の一定区間について、地域のボランティア団体等が愛着をもって美化作業や清掃活動を行う。 道路管理者は、作業道具の貸与やボランティア保険加入など活動の支援を行う。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	226	226	235	240	
	決算額	(千円)	233	174	41	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	233	174	41	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,833	3,473	3,502	3,490	3,485	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	29.53	34.96	30.00	28.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

指標名	参加登録団体数 ( 団体 )					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	23.0	24.0	21.0	24.0	25.0	26.0
実績	23.0	20.0	23.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	アダプト・ア・ロード 参加登録団体の数					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	参加団体に花を無償で配布し魅力向上に努めた。 チラシの庁舎及び各窓口センターに設置や区会回覧により、参加促進を図った。 参加団体をつくば市緑の表彰に推薦し、活動意欲の向上を図った。				
成果	各団体に美化活動を行ってもらうことで、道路に対する市民の愛護意識を高めることとなった。 また、綺麗で快適な花による彩のある道路環境作りを推進できた。 活動により地域コミュニティの醸成に貢献することができた。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>アダプト・ア・ロード事業がまだまだ市民に広く認知されていない。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td>-</td> </tr> </table>	業務	アダプト・ア・ロード事業がまだまだ市民に広く認知されていない。	組織、予算等	-
業務	アダプト・ア・ロード事業がまだまだ市民に広く認知されていない。				
組織、予算等	-				
改善目標	本事業の魅力向上や情報発信によって参加団体や参加人数の増加に努める。				

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	586 道路管理事務事業					
予算科目	01-080101-12 道路管理事務に要する経費			担当部課	建設部道路管理課	
市長公約				係名	占用・査定係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市が管理する道路等を使用する者
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路法の規定に基づき、道路維持管理の円滑化と充実化を図る。</li> <li>市の管理する道路・水路・里道等と隣接する民地の区域境界の査定を行い官有地の区域を確定させる。</li> </ul>
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人及び事業者に対し、道路占用許可書を交付し、祭事等の行為において道路使用届を受理する。</li> <li>法定外公共物を管理するために、使用許可書を交付する。</li> <li>払下げについては、法定管理期間満了後に用途廃止手続を行い普通財産管理部門に引継ぎを行う。</li> <li>申請に基づき、道路・水路・里道等と民有地の境界について立会による査定を行い、隣接地権者及び管理団体等の同意を得た官有地について査定図を備えつける。</li> </ul>

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	2,423	3,243	3,379	3,379	
	決算額	(千円)	71,073	2,216	2,789	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	67,523	2,216	2,789	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	3,550	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	34,345	35,090	36,130	35,186	35,065	
	内訳	正職員従事割合	(人)	4.90	4.90	4.90	4.90	4.90
		正職員時間外勤務	(時間)	450.00	721.15	1,088.25	700.00	650.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

## 指標の推移

指標名	処理件数 ( 件 )						活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1 目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績	2,237.0	2,235.0	2,619.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	占用許可+道路工事施工承認+境界確認+法定外公共物使用許可・工事施行許可+払下げの件数						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	道路台帳窓口システムにおいて、査定図の交付作業を無人化することで事務の効率化を図ることができた。	
成果	占用申請、施工許可申請等に対し適切な許認可を行い、道路機能の維持管理を行うことができた。また、道路境界立会については申請から1ヶ月以内に立会を実施し適正期間で処理することができた。道路占用オンライン化に向けた打ち合わせや、竹園地区電線共同溝整備事業について打合せを行い、つくば市と各占有者で意見交換を実施した。	
課題	業務	現場立会などにより、内部事務を進めるための時間が確保できないことや、TX沿線開発、都心部からの人口流入等及び管理道路延長が増え続けている上に、窓口への問合せは高度化しつつ、件数も増加している。
	組織、予算等	道路に係わる申請や問合せが増加することに対応するため人員の確保が重要である。
改善目標	道路台帳や査定図については積極的に道路台帳窓口システムを案内することにより窓口対応の負担を軽減させる。	

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	587 道路台帳管理事務事業					
予算科目	01-080101-12 道路管理事務に要する経費			担当部課	建設部道路管理課	
市長公約				係名	管理係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	全て委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市が管理する道路等を使用する者
目的	つくば市道の路線の認定・廃止・変更等を行う。適正な維持管理を図るとともに市民に最新の地図情報を提供する。
概要 (取組内容)	市道の路線の認定・廃止・変更等の異動を道路台帳に反映をさせる。 つくば市道管理台帳の加除補正を業務委託し、毎年更新作業を実施し、市民に最新の地図情報を提供する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	42,526	40,313	39,347	39,347	
	決算額	(千円)	41,686	40,986	40,205	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	41,686	40,986	40,205	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	14,238	6,873	10,361	10,349	10,341	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	1.00	1.50	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	273.00	29.53	45.25	40.00	37.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	道路認定・廃止・変更延長 ( km )				活動結果指標	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	68.6	54.6	41.8	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	実績値＝年度分の管理台帳加除延長（改良工事等）+道路認定+廃止+変更					

2	指標名	( km )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	道路台帳図の電子化の予算確保のため、国庫補助事業等について調査や打合せを行った。 道路台帳システムの機能について課内に情報共有を図った。	
成果	市道の認定・廃止・変更など道路台帳の更新を行い、閲覧者に対して最新の道路情報を提供することができた。また、道路の維持管理を行う上でも基礎資料になることから、最新の情報に更新する等適切な管理を行うことができた。過去の道路関係図面、本年度に受付けした要望書を道路台帳システムに搭載し、情報の劣化を防ぐと共に情報の一元化を図ることができた。	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路台帳図はマイラー原図であるが、作成されてから30年以上経過し劣化がみられる。</li> <li>道路台帳図に縮尺が異なるものが混在している。また、接合部に不整合がみられる。</li> <li>道路台帳図を手書きで修正しているため、手間暇がかかる。</li> </ul>
	組織、予算等	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路台帳図を電子化したいが、予算規模が大きく事業化が難しい。</li> </ul>
改善目標	道路台帳図の経年劣化・不具合への対応や窓口でのサービス向上のため、道路台帳図の電子化を検討する。 道路台帳システムの機能向上により、道路維持管理業務の効率化を図る。	

### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	591 河川清掃活動					
予算科目	01-080301-11 河川維持管理に要する経費			担当部課	建設部道路管理課	
市長公約				係名	占用・査定係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市民、市職員
目的	河川の美化意識の啓蒙や不法投棄等の防止を図る。
概要 (取組内容)	小貝川クリーン大作戦 流域集落の区会を通して地区住民の参加を募り、清掃活動を実施する。 ※河川事務所(国)との連携事業（国が予算措置している。）

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	679	680	684	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

## 指標の推移

1	指標名	清掃の実施回数 ( 回 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	清掃の実施回数						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	
成果	7月10日に小貝川クリーン大作戦を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となり清掃活動が行えなかった。
課題	業務
	組織、予算等
改善目標	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況		
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-



# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	976 道路維持管理事業					
予算科目	01-080201-11 道路維持管理に要する経費			担当部課	建設部道路管理課	
市長公約				係名	維持第一係、維持第二係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市が管理する道路等を使用する者
目的	市民の快適で安定した生活を確保する。
概要 (取組内容)	市が管理する道路、水路等の修繕・補修工事を迅速に処理する。 地区要望に対応し、舗装修繕工事、排水改修工事及び通学路内での除草と、常磐道の側道と調整池及び水路の除草を実施

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	1,287,753	1,244,758	1,127,275	1,240,980	
	決算額	(千円)	1,065,607	1,101,863	1,076,538	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	615,448	687,033	669,448	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	339,550	297,270	294,481	0	0
		その他	(千円)	110,609	117,560	112,609	0	0
人件費	人件費計	(千円)	51,234	45,471	55,677	56,215	56,215	
	内訳	正職員従事割合	(人)	7.15	6.37	7.81	7.81	7.81
		正職員時間外勤務	(時間)	1,111.00	878.00	949.00	1,170.00	1,170.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	修繕・改修工事件数 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	338.0	412.0	363.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	一年間に行う修繕・改修工事の件数					

2	指標名	通学路等除草面積 ( m <sup>2</sup> )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	460,000.0	600,000.0	678,300.0	686,600.0	678,000.0	678,000.0
	実績	607,771.0	805,303.0	808,341.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	一年間に行う通学路除草（3回/年）の面積					
3	指標名	舗装打替え工事施工延長 ( m )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	2,960.0	3,557.0	2,654.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	一年間に行う舗装工事の施工延長					
4	指標名	橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁点検数 ( 橋 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	140.0	135.0	131.0	104.0	80.0
	実績	57.0	151.0	135.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	橋梁長寿命化修繕計画に基づく一年間の橋梁点検件数					
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	危険性、緊急性及び必要性を判断し、優先順位を付けて維持補修を実施した。また、測量設計業務や工事等を適宜に実施した。	
成果	舗装工事や測量設計委託の円滑な実施に伴い市民の安全な通行の確保ができた。	
課題	業務	市民の安全な通行を確保する上で、今後の維持管理にかかわる業務は年々増え続ける。
	組織、予算等	年々増え続ける事業に対応するため予算の確保と人員の確保が重要である。
改善目標	事故を未然に防ぐため道路パトロールを徹底するとともに、過去の維持補修工事の実績などから、計画的な測量設計委託や舗装工事を行い、市民の通行の安全確保を行う。	

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	977 街路維持管理事業					
予算科目	01-080403-11 街路維持管理に要する経費			担当部課	建設部道路管理課	
市長公約	66			係名	維持第一係、維持第二係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市が管理する道路等を使用する者
目的	市民生活の安定を図る。
概要 (取組内容)	市が管理する研究学園都市中心部及びTX沿線地区の道路、水路等の修繕・補修工事の処理 舗装修繕工事や排水修繕工事、街路樹剪定作業の実施 市が管理する研究学園都市中心部及びTX沿線地区の道路、水路、長きょう物の維持管理補修や車道部や民地などに越境している範囲の剪定や植樹帯の除草作業 枯損木等の伐採、除去

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	619,517	595,542	620,085	793,040	
	決算額	(千円)	581,324	617,531	596,903	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	581,324	617,531	596,903	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	26,799	28,555	28,882	29,208	29,208	
	内訳	正職員従事割合	(人)	3.74	4.00	4.05	4.05	4.05
		正職員時間外勤務	(時間)	581.00	552.00	496.00	630.00	630.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	街路修繕・改修工事の計画件数 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	55.0	43.0	43.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	一年間に行う修繕・改修工事件数						

2	指標名	剪定本数 ( 本 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4,000.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0
	実績	3,816.0	4,876.0	3,931.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	一年間に行う剪定の本数					
3	指標名	伐採本数 ( 本 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	410.0	236.0	200.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	一年間に行う伐採の本数					
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	街路樹を適切に管理する上で対策や検討を行い維持管理を実施した。また、「街路樹の維持管理指針（案）」を作成した。	
成果	適切な街路管理の実施により、市民の通行の安全確保ができた。	
課題	業務	街路樹の老朽化や巨木化が顕著となっており、通行上の安全確保や街路樹管理を適切に実施する上で対策・検討が必要である。水銀灯製造終了に伴い、街路灯の球切れ修繕を行う場合、灯具から交換しなくてはならないことがあり、また、数量が多く、施工方法などの検討が必要である。
	組織、予算等	TX沿線開発に伴う管理路線が増え、市民の通行の安全確保や街路樹の適切な管理を適切に実施する上で、維持管理費の増大は否めず、予算の確保が重要となる。街路灯の修繕に伴う予算の確保が重要となる。
改善目標	景観にも配慮した街路樹の維持管理を行うため、市民のニーズを踏まえつつ、方針を決定する。街路灯の更新については、LEDへの一括更新を検討する。	

### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	978 共同溝維持管理事業					
予算科目	01-080407-11 共同溝維持管理に要する経費			担当部課	建設部道路管理課	
市長公約				係名	維持第一係、維持第二係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市共同溝管理規則、つくば市共同溝保安細則			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市が管理する道路等を使用する者
目的	良好な都市環境を維持する。
概要 (取組内容)	共同溝の構内と共同溝管理センターの保守点検及び維持管理

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	18,208	19,872	20,115	20,115	
	決算額	(千円)	17,673	18,496	18,153	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	886	1,194	989	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	16,787	17,302	17,164	0	0
人件費	人件費計	(千円)	787	929	994	994	994	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.11	0.13	0.14	0.14	0.14
		正職員時間外勤務	(時間)	16.00	18.00	15.00	15.00	15.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	年間巡視点検回数 ( 回 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0
	実績	36.0	36.0	36.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	一年間の点検回数					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	年次計画を立てた維持補修を適宜に実施した。	
成果	維持工事等を行うことにより、施設内の占用物の安全が確保できた。	
課題	業務	施設の老朽化に伴い継続した計画を立て維持補修を行う必要がある。
	組織、予算等	施設の老朽化に伴い維持管理にかかわる費用は年々増え続けており、予算の確保が重要となる。
改善目標	施設の状態を把握し長期的な修繕計画が必要となる。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	097 道路管理協議事務事業					
予算科目	01-080101-12 道路管理事務に要する経費			担当部課	建設部道路管理課	
市長公約				係名	管理係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法、車両制限令			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市が管理する道路等を使用する者
目的	つくば市道について、地域の地形、地質、気象その他の状況及び当該道路の交通状況を考慮し、車両の通行に対して安全な構造とするとともに、円滑な交通を確保する。
概要 (取組内容)	国・県・民間機関などが施工しつくば市へ移管する道路について、設計・施工協議や施工段階確認、完了確認を行う。 車両制限令の一般的制限をこえる車両（特殊車両）の通行について、協議内容（通行経路、車両寸法、車両重量）を審査し、通行可否や通行条件を回答する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	0	7,206	7,422	7,369	7,345	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	164.99	241.59	220.00	210.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	道路設計協議、道路施工協議 ( 回 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	55.0	77.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	実績値（回/年）＝道路設計協議＋道路施工協議						

2	指標名	特殊車両の通行協議 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	1,027.0	1,256.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	協議回答件数					
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応		
成果	国、県、民間機関などが設置し市へ移管する道路について、設計・施工協議や施工段階確認、完了確認を適切に行い、道路の安全確保や適切な維持管理を実施することができた。 特殊車両の通行協議について遅滞なく適切に協議回答し、安全かつ円滑な交通を確保することができた。	
課題	業務	特殊車両の通行協議の件数が非常に多く、申請者からの早期の回答要望も多い。
	組織、予算等	道路の設計・施工協議や施工段階確認、完了確認については、幅広い関係法令や基準、現場のノウハウを扱うため、人材育成に非常に多くの時間がかかる。
改善目標	道路の関係法令や基準、現場施工について、外部研修参加や課内教育を積極的に進める。 特殊車両の通行協議について、マニュアルの作成や国のシステムへの路線登録により、業務の効率化を図る。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-